

# ひびき

## 【目次】

市民活動センターは移転しました	- 1 -
市民活動チャレンジプログラム2011 (実施報告)	- 2 -
おじゃましまーす(活動紹介)	- 3 -
お知らせ・助成金情報	- 4 -

龍ヶ崎市市民活動センターは、社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。  
会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコンなどがご利用いただけます。

〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571

E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL http://www11.ocn.ne.jp/~r-shimin/

開館時間＝午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで) 休館日＝月曜日および年末年始

## 市民活動センターは移転しました

市民活動センターは、上町NTTビルから3月31日をもって閉館した中央公民館の跡地に移転しました。

これまでの業務に加え、旧中央公民館2階の会議室などの貸し出しも、市民活動センターが引き続き行います。

業務内容などについては、次の通りです。

**休館日** 毎週月曜日(祝日の場合振替はありません)  
年末年始

**開館時間** 午前9時～午後7時(火曜～土曜)  
午前9時～午後5時(日曜日・祝祭日)  
2階の会議室等は節電のため、当分の間は午後9時(通常は10時まで利用可能)までとさせていただきます。＝要予約

**業務内容** 【1階】  
各スペース(会議・談話・パソコン・作業)の利用  
コピー機・ファクス・印刷機の利用  
プロジェクターなどの備品の貸し出し  
登録団体用ロッカーの利用  
市民活動情報の提供

【2階】  
会議室(大)、会議室(小)  
和室、コンピュータ室の利用

**予約開始日** 利用日の1ヶ月前より受付  
(貸し出し備品の予約は2ヶ月前より)

**所在地** 龍ヶ崎市馴馬町2445

**TEL** 63-0030(変更なし)

**FAX** 63-0571(変更なし)



アクセス

## りゅうがさき市民活動フェア in サプラ

2月20日(日)ショッピングセンターサプラにおいて、りゅうがさき市民活動フェアinサプラを開催しました。

このフェアは、市民活動をしている団体を紹介し「地域で何か役に立つ活動がしたい」「時間はあるけど自分ができる活動が見つからない」という方へのきっかけづくりと活動団体同士の交流を目的としています。

4回目を迎える今回は、サプラのご協力により、多くの買い物客でにぎわう、光のモール(1階)でパネル展示を開催することができました。

パネルの前では、各団体の活動に関する質問が飛び交うなど、多くの市民に活動を知ってもらう機会となりました。この機会に1人でも多くの方が、市民活動への参加につながってくれたらと思います。

また、多目的ホール(2階)では、60歳を超えて初舞台にチャレンジしたシニア劇団の7ヶ月を記録した涙と笑いのド

キュメンタリー映画「つぶより花舞台」を上映しました。

最後にフェアの締めくくりとして行った、参加団体による交流会では、活動分野を超えた団体間の交流が図れました。

参加団体数:34団体、パネル展示観覧者数:約450人



光のモール(1階通路)でのパネル展示

## 公開講演会

2月26日(土)、龍ヶ崎市文化会館小ホールにおいて、I I H O E「人と組織と地球のための国際研究所」代表の川北 秀人さんを講師にお迎えして、『地域の課題を地域力で解決!~住み続けたいまちにするために~』と題し公開講演会を開催しました。

私たちの住むまちを魅力あるまちにするために、地域の課題に取り組み解決していく手法など、全国各地域のさまざまな事例を挙げて紹介していただきました。

まず「協働とは何か」「まちづくりは誰のためにするのか」などについて解説し、市民と行政のそれぞれの持ち味を生かし、お互いの持っている力を引き出すことが協働であるということをお話しされました。

日ごろ地域の自治活動に取り組んでいる方が多く参加され、質疑応答では閉会時間をオーバーするほど熱心な質問がありました。

参加者:63人



会場を埋める参加者

## 市民活動体験(要約筆記)

2月14日(月)と28日(月)の2日間、「要約筆記 龍」のみなさんのご協力により、5人の参加者とともに要約筆記を体験させていただきました。

要約筆記とは、手話ができない難聴者の方に会話を要約し文字にして伝えることです。今回体験したのは、OHPを使い、透明のロールに会話の内容を書いたものをスクリーンに拡大して映し出す手法です。同時に大勢の方が会話の内容を確認することができます。

テレビのインタビューなどで、話の内容が画面に文字表示される場面をよく目にします。その書き取りを会話と同時進行で進めるわけですから、大変な訓練が必要になります。

会員の方は、リラックスして、漢字を要領よく使うことによって、素早く分かりやすい筆記をこなしていました。

体験に参加された方々は、ひらがなが多くなったり、文字が乱暴になったり、最後には会話のスピードに追いついていけないなど悪戦苦闘の状態でした。

しかし、会員でもある難聴の方が「きちんと読めて、書いてある内容もわかります」と感想を述べてくれた時には、気持ちや和らぎ充実感でいっぱいでした。

OHP(オールヘッドプロジェクター):図画を投影する機器



筆記した会話がスクリーンに映し出される

# おじゃましまーす！

## 登録団体の活動紹介

### ソング・バード

代表者 丸山 和子さん

取材日：12月2日

場 所：久保台地区公民館

(現在は久保台コミュニティセンター  
に名称が変更されています)



合唱風景

るそうです。今後のイベントでは、アンコールにも応えられるように練習を積み重ねていくそうです。

代表の丸山和子さんは「月1回の活動ですが、会員とおしゃべりをして、2時間楽しみながら集中して唄うことが、身体に良い影響があるのか、会員の皆さんは全員元気なんですよ」「随時、会員を募集していますので、お気軽にご参加ください」と話されていました。

この日は練習の後、全員での食事会ということで、それも楽しみの一つだそうです。

【問い合わせ】0297-66-9622 丸山和子さん

(活動日：毎月第1木曜日10時から12時まで 場所：久保台コミュニティセンター)

会員の皆さんと元気に唄うことを通して、地域の高齢者との相互交流を行い、健康で日々楽しく過ごせるための活動をしています。

練習会場の久保台地区公民館（当時）多目的室には、この日24名の会員が集まり「春の小川」「もみじ」「遠くへ行きたい」など7～8曲を全員で合唱し楽しんでいました。

講師のピアノ伴奏に合わせて、手や足を動かし身体を左右に揺らして、思い思いにリズムをとりながら、譜面を見て発声の強弱や感情の盛り上げ方の指導を受けるなど、真剣に取り組んでいる姿が印象に残りました。

公民館まつりで発表をした曲目「もみじ」の合唱では、山々の色鮮やかな紅葉の情景が目に浮かんできました。

これまでの活動は、まいんバザールや公民館まつり、久保台小学校の児童たちへの発表などを行ってきました。児童たちからは

「唄のおばちゃん」と慕われている



ハンドベル演奏も楽しめます

### 龍ヶ崎 サッカースポーツ 少年団

代表者 川北 嗣夫さん

取材日：1月23日

場 所：龍ヶ崎小学校

などの技術指導を受け、楽しみながら真剣に取り組んでいる子どもたちの姿が印象に残りました。

後半には、高学年が2チームに分かれて、試合形式による練習でレベルアップを図っていました。

監督の河原崎さんは、「子どもたちが、技術的に向上するのはもちろんですが、サッカーというスポーツを通して、心身が鍛えられ、日々成長されていくことが一番の楽しみです」また「新1年生～新6年生までの団員を募集していますので、お気軽にお問い合わせください」と話されていました。

【問い合わせ】0297-64-6531 河原崎守正さん（監督）

(活動日：毎週土・日曜日9時から12時まで 場所：龍ヶ崎小学校)

サッカーを通して、子どもたちの健全な育成を目指し、活動を始めて22年が経過したそうです。

この日は龍ヶ崎小学校グラウンドにおいて、団員の小学生約60名が参加して練習を行いました。元気よく「おはようございます」と団員から挨拶があり、4名の女子

団員も男子団員と同じように、元気いっぱいグラウンドを走り回り、監督やコーチからキックやパスな



男女混成です



ドリブルの練習

